

# 高知女子大学紀要総目録

## 人文・社会科学編

	著者	巻	号	頁
言語表現の曖昧性と文学表現	山崎 良幸	1		1
谷崎潤一郎の初期の作品と「細雪」との関係について	三宮 慎助	1		12
Thomas Jefferson について ——そのアメリカ的限界——	広田 孝一	1		23
詞と辞の接続における意味的關係	山崎 良幸	2	1	1
「何せむに」について				
——特に憶良の表現上の技法と関連して——	山崎 良幸	2	2	57
高知県の一山村における食・衣生活の構造				
——実態調査に基いて——	有沢貞雄・貞岡 照・田村弥生	2	2	68
Notes on the last phase of Shelley's thought	Takashi KATO	3	2	47
高知県の一山村における食・衣生活の構造 (承前)				
——実態調査について——	有沢貞雄・貞岡 照	3	2	56
南仏の吟遊詩人	正木 喬	4	2	47
日本語の動詞と形容詞について	山崎 良幸	5	1	1
Voices of two different natures—an essay on Wordsworth's poetic decline	Takashi KATO	5	1	12
リチャード・ライト論 ——The Outsider を中心として——	荒木 博之	5	1	26
Pragmatism の認識論 ——教育方法論として——	芝田不二男	5	1	37
日本国憲法成立についての一考察	竹内 一雄	5	1	49
マルクス主義の認識論 ——教育方法論として——	芝田不二男	6	2	1
北京語における旧入声	上田金次郎	6	2	17
活用現象は何を表現するか	山崎 良幸	6	2	31
農業主義的南部とその反ニグロ的系統	荒木 博之	6	2	47
公共の福祉 おぼえがき	竹内 一雄	6	2	58
法と道德の問題 おぼえがき	竹内 一雄	7	3	1
Defining the word ——glossemantics の場合——	岡部 匠一	7	3	13
社会的過程としての認識論 ——教育方法論として——	芝田不二男	7	3	44
政治学原理 おぼえがき I	竹内 一雄	8	4	1
社会的過程としての認識論 (承前)				
——教育方法論として——	芝田不二男	8	4	23
ソヴィエトにおける英語学				
——スミルニッキーの '古代英語' ——	岡部 匠一	8	4	37
教育過程の論理	芝田不二男	9	5	1
政治学原理 おぼえがき II	竹内 一雄	9	5	21
異本“寺川狂談”の発見と寺川郷談成立の過程について	広田 孝一	9	5	33

源氏物語における謙讓語「聞ゆ」と「申す」についての一つの試み ——この語を使用している人物の関係を源氏を基準として 分類することによる——	竹村 義一	9	5	49
英語教授の原理	前田 忠夫	9	5	59
Study on infinitive in alliterative <i>Morte Arthure</i>	Tsuneo SAKAI	9	5	76
Dewey 知識論における transaction について	芝田不二男	10	6	1
法の探求	竹内 一雄	10	6	12
寺川郷談の原形について	広田 孝一	10	6	29
「タウンリー劇」における未来表現について	酒井 倫夫	10	6	39
On some aspects of the infinitive in ME <u>Sir Green and the Green Knight</u>	Tsuneo SAKAI	11	7	1
A study of the versions of 'Fair Annie'	Hiroyuki ARAKI	11	7	16
精神科学についてのおぼえがき	竹内 一雄	11	7	24
A note on <i>Howards End</i>	Aya YAMAMOTO	12	8	1
On the negation of early middle English prose	Tsuneo SAKAI	12	8	13
源氏物語における“臚写法”	竹村 義一	12	8	24
Dewey 知識論における問題と矛盾について	芝田不二男	12	8	33